

令和4年度版
岡山市の道路事業

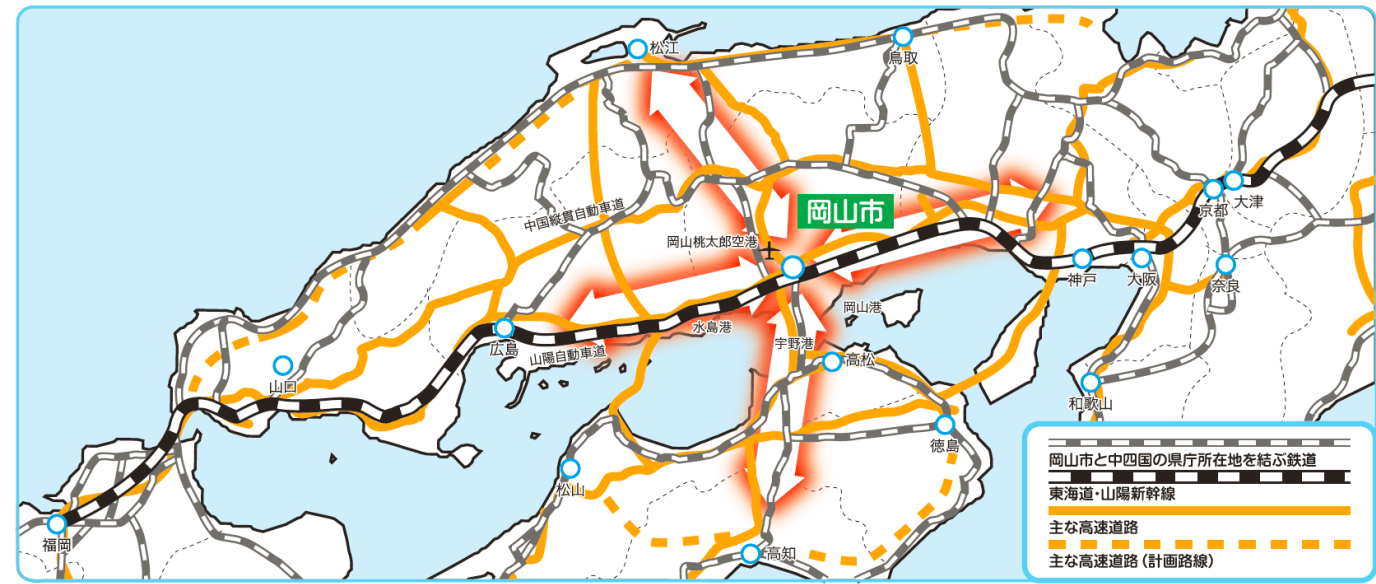


岡山市
OKAYAMA CITY



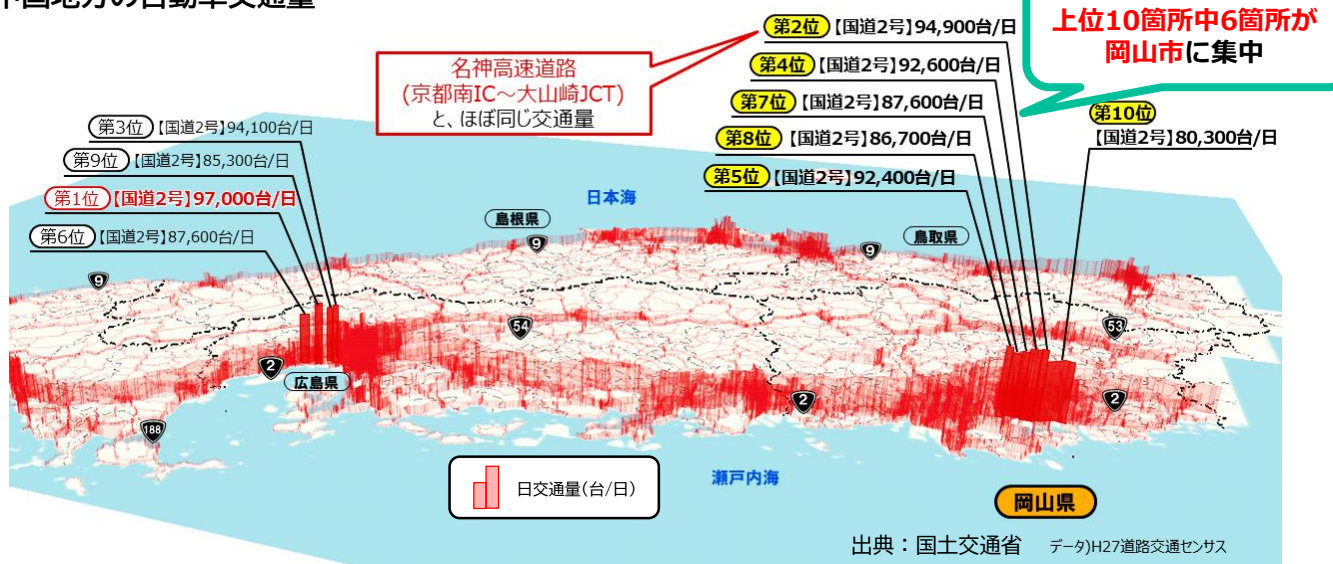
1. 岡山市の道路交通の現状と課題

岡山市は、近畿と九州を結ぶ東西軸と、山陰と四国を結ぶ南北軸の結節点、「中四国の交通のクロスポイント」に位置し、鉄道・道路・空路などの交通網が集中する中枢拠点都市です。

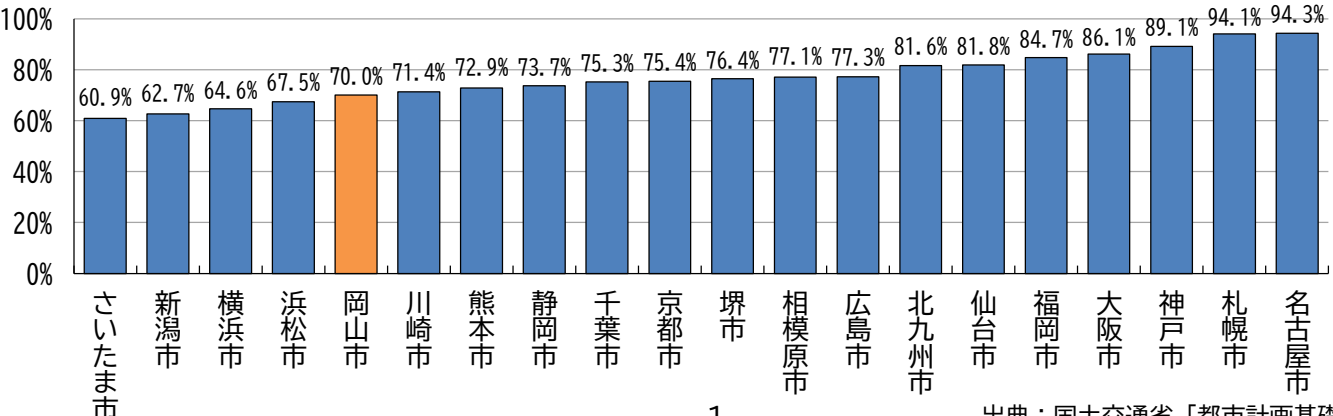


一方で、岡山市内は自動車交通量が多く、主要渋滞箇所も数多く点在し、人流や物流において大きく支障が生じており、その地勢上の優位性を活かしてきれていない現状となっています。また、まちづくりの骨格となる都市計画道路の整備率は約70%と、政令指定都市の中では低くなっています。

中国地方の自動車交通量



都市計画道路整備率 (政令指定都市比較) (R3.3末現在)



2. 岡山市のみちづくりの基本理念と施策

道路を取り巻く様々な課題や市民のニーズ等を踏まえ、以下の基本理念と施策を位置づけて、総合的に取り組むことにより、質の高い道路ネットワークを構築します。

みちづくりへの意思表示

あらゆる人が安心して、心地よく行き来できるみちをつくる

～4つの目標と7つの施策の柱～

移動

①人とモノの移動を支える
道路網の構築

広域ネットワークの強化、公共交通との連携、都心部への自動車の流入抑制など、利便性が高く、人と環境にやさしい道路ネットワークの構築を進めます。

空間

②魅力あふれるまちづくり
を担う道路空間の形成

道路の基本機能である「移動機能」に加え、人、自転車、自動車など多様な利用者が共存できる「空間機能」を高めた道路整備を進めます。

防災

③災害に備えた防災機能の
強化

頻発化、激甚化する災害に備え、「防災機能」を強化し、避難行動や救助活動、支援物資輸送の経路など命をまもる道路ネットワークの構築を目指します。

持続性

④持続可能で効率的な道路
マネジメントの推進

計画的な維持管理や既存施設の有効活用などを推進するとともに、市民ニーズを反映した効果的・効率的な道路整備を推進します。

移動 ① 人とモノの移動を支える道路網の構築

■環状道路の整備

外環状線内に多くある渋滞箇所の抜本的取り組みとして、市街地外周部を通る岡山環状道路をはじめとする三環状道路の整備を重点的に進め、分散・導入による自動車交通の円滑化を図ります。



【外環状線】市道 藤田浦安南町線 令和4年4月開通



至 藤田

至 浦安南町

- ・ 事業区間 : 岡山市南区藤田～浦安南町
- ・ 延長・規格 : 延長1.6km 幅員36.0m
- ・ 総事業費 : 91億円
- ・ 事業着手 : 平成21年

【外環状線】主要地方道 岡山赤穂線



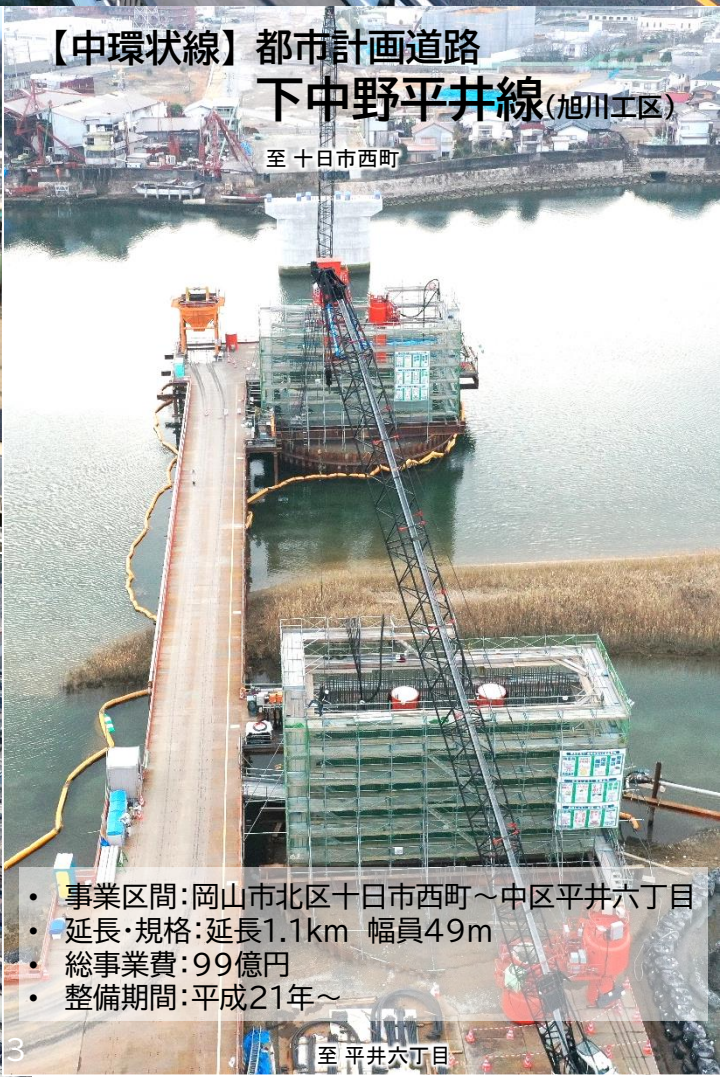
※完成イメージ



- ・ 事業区間 : 岡山市中区中井～東区宍甘
- ・ 延長・規格 : 延長3.5km 幅員26.0m
- ・ 総事業費 : 341億円
- ・ 整備期間 : 平成27年～

【中環状線】都市計画道路 下中野平井線(旭川工区)

至 十日市西町



- ・ 事業区間 : 岡山市北区十日市西町～中区平井六丁目
- ・ 延長・規格 : 延長1.1km 幅員49m
- ・ 総事業費 : 99億円
- ・ 整備期間 : 平成21年～

至 平井六丁目

■放射状道路等の充実

隣接都市を含む広域都市圏として均衡ある発展を支えるため、都心、都市拠点、地域拠点、隣接都市の連絡機能を強化する幹線道路の整備を進めます。

整備中・計画中の主な幹線道路



■高速道路網との連携

高速道路の持つ機能と役割を有効に活用するため、美作岡山道路と山陽自動車道との接続部となるジャンクションやインターチェンジの整備を進めます。

(主)佐伯長船線 美作岡山道路



空間 ② 魅力あふれるまちづくりを担う道路空間の形成

■都心部における人優先の道路空間の整備

魅力と賑わいのある中心市街地を創出するため、車中心から歩行者や自転車・公共交通に配慮したみちづくりを推進します。

道路空間の再編や緑化により安全で快適な歩行空間を形成（県庁通り）



■安全・安心な歩行空間の整備

小学校、幼稚園などに通う児童や幼児の通行の安全を確保するため、通学路の歩道整備などを積極的に推進します。



■道路の防災対策

災害直後から必要となる避難行動をはじめ、救急活動や緊急輸送などを円滑かつ確実に実施できるようにするため、橋梁の耐震補強や無電柱化などによる災害に強い道路整備を進めます。

橋脚の補強による耐震化

無電柱化による電柱の倒壊防止



④ 持続可能で効率的な道路マネジメントの推進

■計画的な維持管理の実施

維持管理・更新を適切に行うために、施設毎の長寿命化計画を策定し、点検、診断、修繕・更新といった「メンテナンスサイクル」を確立し、持続的かつ確実に維持管理を行います。

■住民参画型道路整備の推進

整備箇所や整備内容に市民のニーズを的確に反映し、地域にとって真に必要な道路整備を行うことにより効果的・効率的な道路整備を推進します。

橋梁の点検

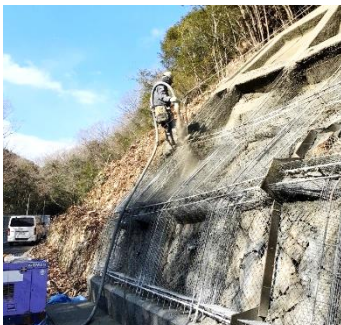
路面標示の補修

学校関係者と協働した交通安全対策の検討



トンネルの点検

のり面の補修



■生活道路の整備・修繕

市民ニーズを反映した道路整備を推進するため、幹線道路以外の生活に身近な道路についても、安全・快適に通行できるよう、整備を進めます。

令和2年度の事業費として、生活道路の整備については約19億円、生活道路の修繕については約11億円の事業費を支出しています。

・生活道路の整備



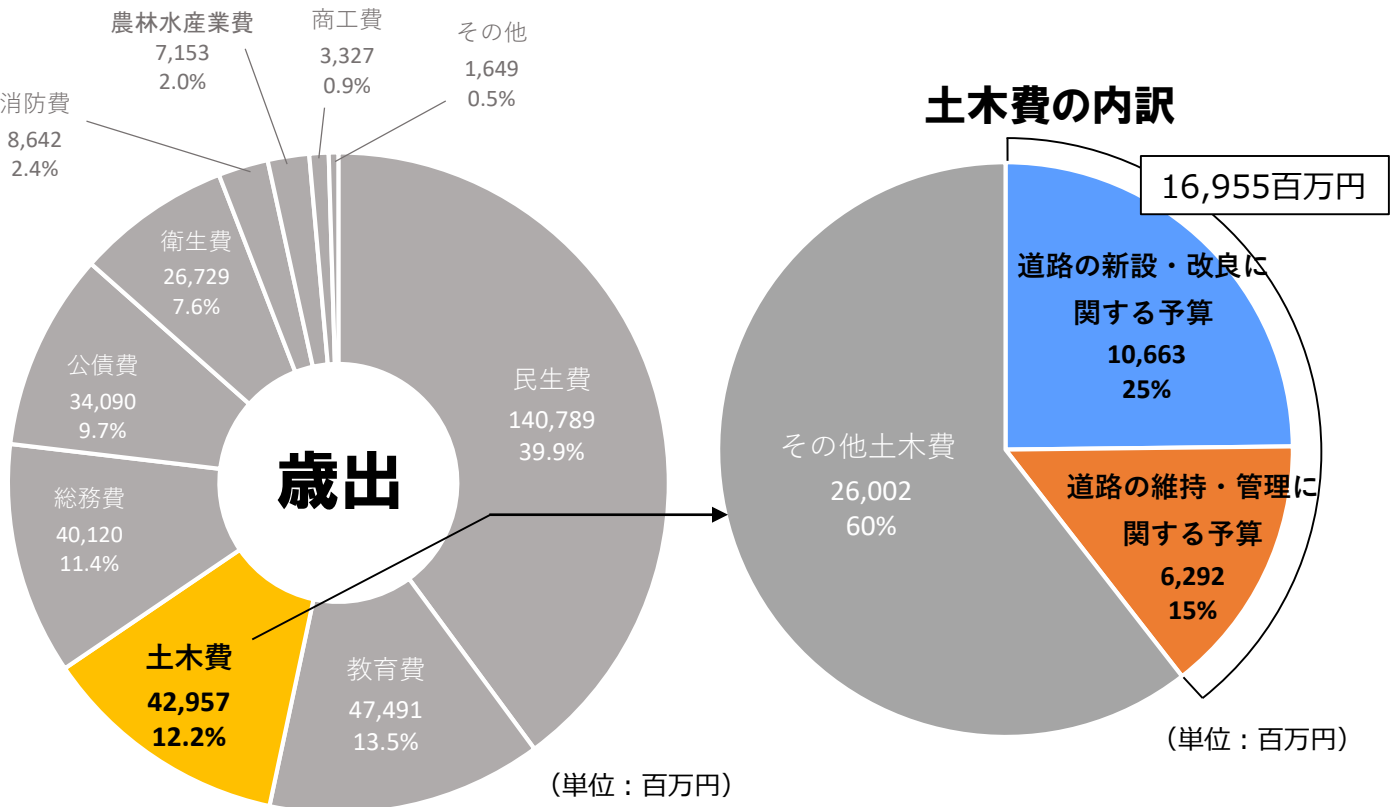
・生活道路の修繕



3. 岡山市の財政と道路に関する事業費

令和4年度当初予算

令和4年度における岡山市の歳出予算約3,529億円のうち、土木費は約430億円であり、そのうち道路関連の予算は約170億円となっています。

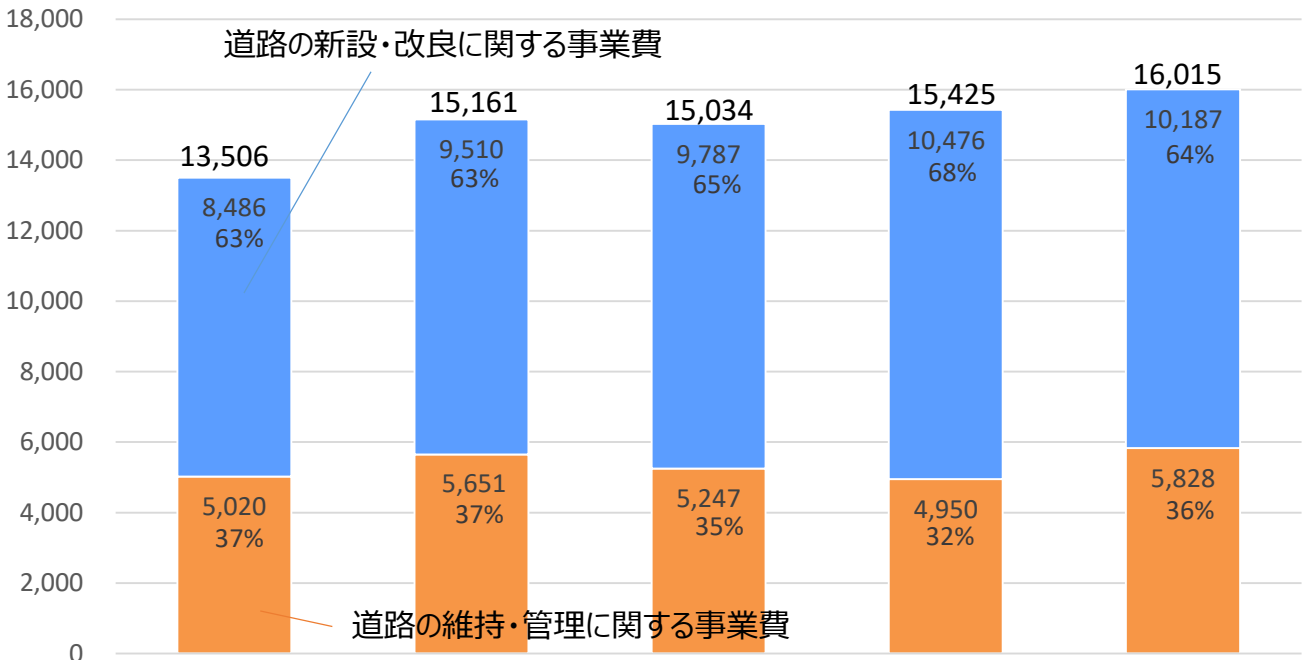


総額：352,947百万円

道路に関する事業費の推移

道路に関する事業費は、平成28年度から令和2年度までの5年間に増加しており、新設・改良に関する事業費は65%程度、維持・管理に関する事業費は35%程度となっています。

(百万円)



※各年度の決算額を集計